

平成 16 年度熊本県内企業新卒者及び中途採用計画調査

## 県内の就職戦線、厳しさ続く

### ～ 慎重姿勢は変わらず、企業間に二極化の傾向～

県内経済は依然厳しい状況が続いているものの、持ち直しに向けた動きがみられ、雇用面でも全般的に改善傾向をたどっている。しかし、採用に対する企業の姿勢は、今春の新卒者の就職内定率の低さにも現われているとおり、先行き不透明感から依然として慎重なものとなっている。

このような状況下、県内に事業所を有する企業を対象に平成 16 年度の新卒者及び中途採用計画についてアンケート調査を行なったところ、調査時点では新卒者の採用計画が「ある」と回答した企業は 35.3%にとどまったが、「未定」とする企業が 19.6%あり、最終的には昨春実績（40.3%）を上回り、2 年連続での改善となることが予想される。ただ、依然として水準が低いことや、採用計画のない企業もすでに 45.2%に達していることなどから、新卒者にとっては依然厳しい状況が続くことには変わりないものと考えられる。一方で、採用計画のある企業の 4 割近くは採用数を増やすとしており、新卒者の採用を積極的に展開する企業と、採用を控える企業との二極化の傾向が進んでいる状況もうかがえる。

また、今年度（平成 15 年度）に中途採用を行なった企業は半数近く（49.5%）にのぼっており、新卒者を採用した企業を上回っている。企業は、専門職を中心に即戦力を求めるようになっており、労働力の過不足にも柔軟に対応できることから、中途採用に対するニーズは今後もますます強まっていくことが予想される。

#### 【調査結果のポイント】

1. 新卒者の採用計画がある企業は 35.3%にとどまったが、最終的には昨春実績（40.3%）を上回り 2 年連続での改善となることが予想される。ただ、依然として水準は低く、採用に対する企業の姿勢も依然慎重で、厳しい状況が続いている。
2. 採用計画のある企業の 4 割近くは採用数を増やすとしており、新卒者の採用を積極的に展開する企業と、採用を控える企業との二極化傾向が進んでいる状況がうかがえる。
3. 専門職を中心に即戦力を求めるようになっており、中途採用に対するニーズは今後もますます強まっていくことが予想される。

#### 【調査要領】

1. 調査時期 平成 15 年 12 月
2. 調査対象 平成 16 年度の高卒以上の新卒者及び中途採用計画
3. 対象企業 熊本県内主要企業 862 社（回答企業 312 社：有効回答率 36.2%）

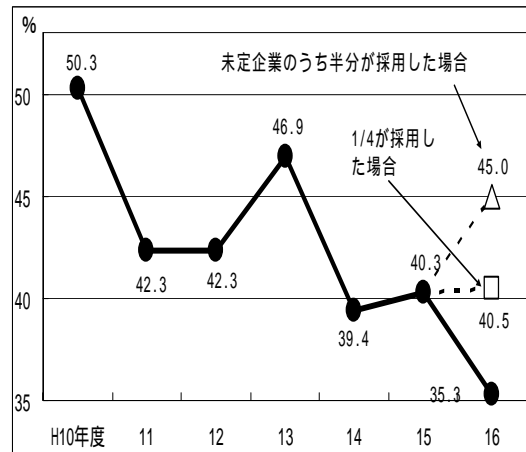
### 1. 新卒者採用の概要

県内企業の新卒者の採用状況の推移をみると、平成 10 年度は約半数の企業が採用を行っていたが、平成 14、15 年度と約 4 割にまで落ち込んでいる。今春は調査時点では 35.3%にとどまっているが、未定の企業が 19.6%あり、最終的には前年度の水準を若干上回り、2 年連続での改善が予想される。昨今の景気持ち直し局面から考えると、未定とする企業のうち四分の一から半数の企業が採用に動くことが予想されるが、それでも 40.5～45.0%にとどまり、企業は新卒者の採用には依然として慎重な姿勢を崩しておらず、新卒者にとっては引き続き厳しい就職戦線となりそうである（図表 1）。

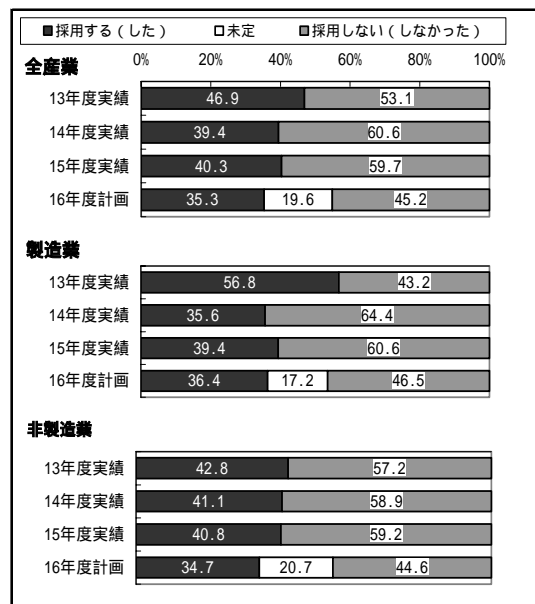
業種別にみると、製造業は平成 13 年度から 14 年度にかけ採用数を大きく減らしている。平成 12 年度は半導体関連企業を中心に生産活動が活発だった年であり、翌 13 年度は IT 不況の年であったことから、製造業の新卒者採用には前年度の生産活動の動向が大きく影響していることがわかる。このところ生産活動は増勢を強めていることから、製造業では未定とする企業の多くが採用に動き、昨春実績を上回ることが予想される。一方、非製造業は年々減少傾向をたどっており、今春も昨春実績を下回ることが避けられないものと思われる（図表 2）。

次に、昨春に新卒者の採用を行なった企業と、見送った企業の採用計画をみると、採用を行なった企業のうち 7 割近く（69.6%）が今春も採用するのに対し、見送った企業は 1 割強（11.9%）にとどまっている（図表 3）。また、今春採用を行なう企業のうち 4 割の企業は採用数を増やすとしている。全体的に新卒者採用へ慎重な姿勢が続く中で、積極的に動く企業も見受けられ、新卒者採用に対する二極化の傾向が進んでいる状況もうかがえる。

図表 1 新卒者の採用を行なう企業の割合



図表 2 業種別採用実績



図表 3 平成 16 年度採用状況

採用状況	企業数	16年度採用実施	
		企業数	%
15年度採用実施	全産業	125	87 (69.6)
	製造業	39	30 (76.9)
	非製造業	86	57 (66.3)
15年度採用見送り	全産業	185	22 (11.9)
	製造業	60	6 (10.0)
	非製造業	125	16 (12.8)

## 2. 今春（平成 16 年度）新卒者採用計画

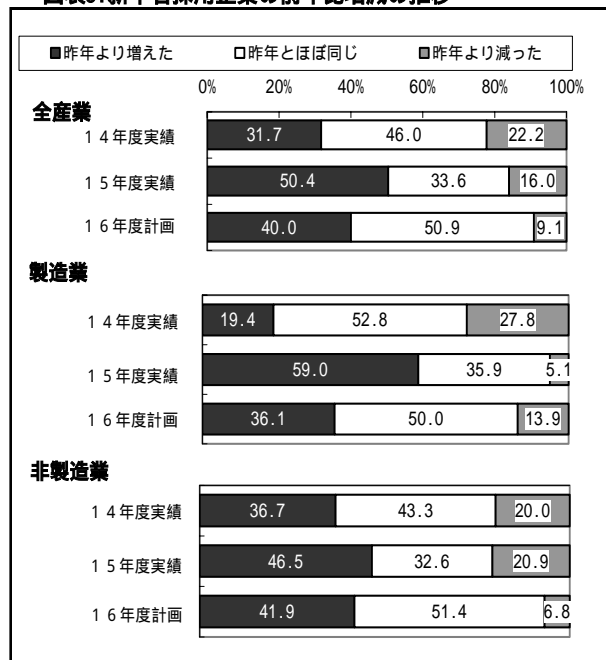
今春の新卒者の採用計画をみると、採用計画が「ある」とする企業は回答のあった 312 社中 110 社（35.3%）で、「ない」とする 141 社（45.2%）を 31 社（9.9 ポイント）下回っている。なお、調査時点では 61 社（19.6%）が「未定」としている。業種別では、製造業、非製造業とも採用計画の「ある」、「ない」、「未定」の割合はほぼ変わらないが、食料品製造業や建設業では「ない」企業はすでに半数に達している。小売業では「ない」とする企業は三分の一にとどまっており、景気は持ち直してはきているものの、個人消費への波及までには至っていない様子もうかがえる（図表 4）。

図表 4. 平成 16 年度新卒者採用計画

	企業数	採用計画						採用計画のある企業の内訳					
		ある		ない		未定		前年より増やす		減らす		同じくらい	
			%		%		%		%		%		%
全産業	312	110	35.3	141	45.2	61	19.6	44	40.0	10	9.1	56	50.9
製造業	99	36	36.4	46	46.5	17	17.2	13	36.1	5	13.9	18	50.0
食料品製造業	26	7	26.9	13	50.0	6	23.1	3	42.9	2	28.6	2	28.6
食料品以外の製造業	73	29	39.7	33	45.2	11	15.1	10	34.5	3	10.3	16	55.2
非製造業	213	74	34.7	95	44.6	44	20.7	31	41.9	5	6.8	38	51.4
建設業	35	12	34.3	19	54.3	4	11.4	7	58.3	0	0.0	5	41.7
卸売業	51	16	31.4	24	47.1	11	21.6	3	18.8	1	6.3	12	75.0
小売業	51	19	37.3	17	33.3	15	29.4	7	36.8	2	10.5	10	52.6
運輸・サービス業	76	27	35.5	35	46.1	14	18.4	14	51.9	2	7.4	11	40.7

新卒者の採用を計画している企業 110 社のうち、採用数を前年より「増やす」とする企業は 44 社（40.0%）となっているが、昨春の 50.4% を大幅に下回っており、新卒者を採用する企業数は昨春実績を上回るものの、人数ベースでは昨春実績を下回ることが予想される。なかでも製造業にその傾向が強く、IT 関連産業を中心に採用を増やす一方で、それ以外の業種では採用を絞り込む状況が見受けられる。非製造業では、建設業や運輸・サービス業の半数以上の企業が採用を「増やす」としており、建設業では住宅関連で、運輸・サービス業では情報処理関連で採用を増やそうとする動きがみられる（図表 5）。

図表 5. 新卒者採用企業の前年比増減の推移



### 3. 平成 16 年度中途採用計画

県内企業の中途採用の状況を今年度（平成 15 年度）の実績でみると、中途採用をした企業は回答のあった 311 社中 154 社（49.5%）で、約半数の企業が中途採用をしている。一方、新卒者の採用実績は、約 4 割の 125 社（40.3%）にとどまっており、中途採用の実績が新卒者の採用実績を 9.2 ポイント上回っている。

業種別では、製造業が 46.5%（新卒者 39.4%）、非製造業が 50.9%（同 40.8%）と、すべての業種で新卒者の採用実績を上回っており、新卒者の採用を抑えて即戦力のある中途採用に積極的に動いていることがうかがえる。

次に、平成 16 年度採用計画をみると、採用計画のある企業は回答のあった 312 社中 84 社（26.9%）で、今年度の実績と比べるとかなり低くなっているが、今後の景気動向によっては大きく好転すること考えられ、調査時点で未定としている企業（93 社、29.8%）の動向が注目される。

業種別にみると、採用計画が「ある」企業は製造業が 22.2%、非製造業が 29.1%で非製造業が 6.9 ポイント上回っている。非製造業のなかでも運輸・サービス業は 40%を超えており、特に運送業で中途採用に対する積極的な姿勢がみられる（図表 6）。

図表 6. 平成 15 年度中途採用実績及び 16 年度計画

	企業数	15年度採用実績				16年度採用計画					
		採用した		採用しなかった		ある		ない		未定	
			%		%		%		%		%
全産業	312	154 (125)	49.5 (40.3)	157	50.5	84	26.9	135	43.3	93	29.8
製造業	99	46 (39)	46.5 (39.4)	53	53.5	22	22.2	45	45.5	32	32.3
食料品製造業	26	11 (6)	42.3 (23.1)	15	57.7	4	15.4	13	50.0	9	34.6
食料品以外の製造業	73	35 (33)	47.9 (45.2)	38	52.1	18	24.7	32	43.8	23	31.5
非製造業	213	108 (86)	50.9 (40.8)	104	49.1	62	29.1	90	42.3	61	28.6
建設業	35	17 (12)	48.6 (34.3)	18	51.4	9	25.7	19	54.3	7	20.0
卸売業	51	25 (22)	49.0 (43.1)	26	51.0	6	11.8	24	47.1	21	41.2
小売業	51	27 (20)	52.9 (39.2)	24	47.1	16	31.4	18	35.3	17	33.3
運輸・サービス業	76	39 (32)	52.0 (43.2)	36	48.0	31	40.8	29	38.2	16	21.1

（注）15年度採用実績の（ ）内は新卒者の採用実績

また、中途採用を計画している企業 84 社のうち、採用数を前年より「増やす」か「同じくらい」とした企業を合わせると 80 社（95.2%）となり、殆どの企業が前年並みかそれ以上の人数は確保したいとしている。なかでも非製造業にその傾向が強く、卸売業や運輸・サービス業では「減らす」とする企業はみられない。企業は、専門職を中心に即戦力を求めるようになっており、労働力の過不足にも柔軟に対応できることから、中途採用に対するニーズは今後もさらに強まっていくことが予想される（図表 7）。

図表 7. 採用計画のある企業の内訳

	企業数	前年より増やす		減らす		同じくらい	
			%		%		%
全産業	84	28	33.3	4	4.8	52	61.9
製造業	22	3	13.6	2	9.1	17	77.3
食料品製造業	4	1	25.0	1	25.0	2	50.0
食料品以外の製造業	18	2	11.1	1	5.6	15	83.3
非製造業	62	25	40.3	2	3.2	35	56.5
建設業	9	3	33.3	1	11.1	5	55.6
卸売業	6	3	50.0	0	0.0	3	50.0
小売業	16	3	18.8	1	6.3	12	75.0
運輸・サービス業	31	16	51.6	0	0.0	15	48.4